

タウンレポート Town Report



のぶ幼稚園で花まつり

5月8日(水) のぶ幼稚園で、お釈迦様の誕生日を祝う「花まつり」が行われました。



園児が集まり、園長先生はお釈迦様誕生時のエピソードを紹介し、教えの一つである「隅を照らす人」になつてほしいと話していました。

園児は一人一人甘茶をけてお参りし、歌を歌って誕生日を祝いました。そして、特別ゲストのはがまるくんと一緒に記念撮影をしました。

消防団規律訓練

5月19日(日) 役場駐車場で、今年度入団した消防団員を対象に、規律訓練が行なわれました。



15人の新人団員は、幹部団員や消防芳賀分署の署員から敬礼や整列の仕方の指導を受けました。

また、消防ポンプ車の性能検査が行われ、どのポンプ車も異常がありませんでした。最後にホースの展張大会が開かれ、各部の代表が、的確にホースを伸ばす腕を披露しました。

敬老祝金贈呈

5月20日(月) 昨年100歳の誕生日を迎えた町内の高齢者を訪問し、町長が祝金を贈呈しました。



この日は、4人のお宅を訪問し、皆さん素敵な笑顔で迎えてくれました。

この祝金の贈呈は、今年度、これまでの制度を改め、100歳の誕生日を迎えたその月に町長が訪問し贈呈することになりました。

芳賀南小が消防芳賀分署を見学

5月9日(木) 芳賀南小4年生55人が、真岡消防署芳賀分署を訪れ、消防車や救急車、建物内部を見学し、隊員から説明を受けました。



実際に使用している機械や工具を手にとり、重さを確認したり、消防隊が着用する防火服を着たりして貴重な体験をしていました。間近で見学できた児童たちは、隊員の説明をよく聞いてメモを取り、疑問に思ったことを質問していました。

芳工連総会

5月17日(金) 芳賀町工業団地連絡協議会の定期総会が、工業団地管理センターで開催されました。



5月1日現在、工業団地連絡協議会の会員は昨年から6社増え、80企業81事業所です。

会長のホンダエンジニアリング株式会社常務執行役員 澤田さんは「今後、県や町と協力し、社員が安心して働ける環境を整え、活気のある工業団地にしていきましょう」と出席者に呼びかけていました。

交通安全協会祖母井支部がポケットティッシュを贈呈

4月12日(金) 真岡地区交通安全協会祖母井支部が、芳賀東小と祖母井保育園に、交通安全を呼びかけるため、ポケットティッシュを贈呈しました。



この活動は、祖母井支部が春の交通安全運動に合わせて、毎年独自に行っています。このポケットティッシュには、子どもや高齢者に優しい3S(スリーエス)運動のロゴが描かれています。芳賀東小木村宣夫教頭先生は「大変ありがたい」と話していました。役員に役立てたい」と話していました。

祖母井保育園プール教室

4月16日(火) 海洋センターで、祖母井保育園のプール教室が開催されました。



このプール教室は、今年度から園児たちの体力向上を目的に取り入れたもので、さくら組を対象に、年6回開催されます。園児たちは、プールに入る前からうれしそうな表情を見せて、プールに入ると歓声を上げながらみんなでジャンプをしたり、ビート板で遊んだりして、水を怖がることもなく、楽しそうに過ごしていました。

芳賀町写真クラブ あいらぶ写真展合同展

4月29日(月) から5月14日(火) まで、総合情報館で、芳賀町写真クラブとあいらぶ写真展の合同展が開催されました。



この合同展は、毎年開催されており、今年も多くの写真愛好家と写真家の丹地敏明氏、佐藤仁重氏の作品など、およそ120点展示されました。会場を訪れた人は、多彩な作品の前で足を止めては、情景を思い浮かべながら鑑賞していました。

母の日のプレゼント作り

5月11日(土) 生涯学習センターで、母の日のプレゼント作りが行われました。



この日は、芳賀北小学校の児童18人が参加し、日頃の感謝の気持ちを込めて、プリザーブドアートフラワーを作りました。

みんな真剣な表情で、お母さんに喜んでもらえるよう一生懸命作っていました。出来上がった作品は、どれも愛らしく、世界に一つだけのプレゼントとなりました。

秀作展テープカット

5月18日(土) 「心の復興に向けて 震災と芸術」と題した第2回特別秀作展が、総合情報館で始まりました。



この日は、町長や教育長のほか、文星芸術大学と宇都宮文星短期大学の関係者、町内の文化団体関係者がオープニングセレモニーに出席し、経過報告やテープカットを行いました。式典終了後、文星芸術大学林香君教授らから展覧作品の説明があり、参加者は聞き入っていました。

この秀作展は、6月16日(日) まで開催されています。

有害鳥駆除

5月18日(土)・19日(日) 町内各地で猟友会によるカモ、カラスの駆除が行われました。



カモとカラスが、餌を食へに田植えをしたばかりの田んぼに入り、苗を荒らすため、毎年この時期に行われています。頭が良いといわれるカラスは、猟友会の人姿を見ると警戒して飛び立ってしまい、駆除することはなかなか難しいようです。なお、6月23日(日) にもカラス駆除を実施予定です。